

**グローバル COE 招聘外国人報告書**  
(受け入れ教官が記入して提出してください)

拠点リーダー 川合光 殿

(受け入れ教官)

受け入れ教官の 氏 名	柴田一成	職	所属教室 研究室
		教授	附属天文台
Tel,Fax,e-mail	075-581-1235		

(招聘者)

披招聘者の 氏 名	Carter Emmart	職	国、所属機関
		宇宙映像 ディレクター	米国、アメリカ自然史博物館 地球宇宙ローズセンター
Tel.Fax.e-mail			
滞在期間	自 2009 年 12 月 9 日 ~ 2009 年 12 月 15 日		
談話会	題名 : <b>The Digital Universe 3D Atlas デジタル宇宙 3 次元アトラス</b>		
	日時 : 2009 年 12 月 14 日 (月) 午前 11 時~12 時半		
	聴衆数 : 40 人		

実際に行った研究活動、成果など簡潔に記述してください。

Dr Emmart は、3次元宇宙映像の世界的権威である。そのため滞在期間中の12月11日(金)~13日(日)に、京大時計台ホールで開催された第13回京都大学国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」の「宇宙物理学と映像」セッションで「デジタル宇宙 3次元アトラスから共有コンテンツの世界へ」という招待講演を行った。また、同シンポジウムにおいて、他分野の学術映像実践の研究者と研究交流を行った。

さらに、12月14日(月)に、京大理学研究科宇宙物理学教室で開催された、本GCOEセミナーで「デジタル宇宙 3次元アトラス」と題した講演を行った。

これらの講演で、Dr Emmart は彼が責任者として開発した世界最高レベルの宇宙 3次元映像を紹介した。その素晴らしい映像は聴衆を魅了し、特に若い学生に大きなインパクトを与えた。このように、学問的にも正確で、芸術的にも価値の高いコンテンツの開発が緊急の課題であることが強調された。さらに、その宇宙 3次元映像コンテンツのコントロールはインターネットを用いると、地球の裏側からも可能であることを示した。つまり米国にいながらにして、ヨーロッパやアジアのプラネタリウムや博物館で上映解説が可能なのである。

以上の Dr Emmart の講演や研究交流は、京大の研究者に大きなインパクトをあたえ、3次元映像コンテンツに関する共同研究の芽がいくつか生まれた。